

カレッジ通信

智辯学園奈良カレッジ小学部
平成28年度 3月号
平成29年3月16日 発行



少しずつ寒さも緩み春の兆しは感じられるようになってきたものの、桜の蕾はまだ固く、本格的な春の到来はもう少し先のようです。

さて、平成28年度もいよいよ終わります。

児童たちはそれぞれの学年で、しっかり成長し、できるようになったことも、随分増えたと思います。

これまで最上級生として後輩たちを牽引してくれた6年生も、卒業の日を迎えました。「おめでとう」という気持ちとともにとても寂しい気持ちがします。4月から新入児を迎えて、1年生もいよいよ先輩になります。今からどんなお世話をしてあげようかと、どきどきわくわくしていることでしょう。2年生から5年生の児童たちは今年度と同様、平成29年度も素晴らしい年となるように、今から抜かりなく、準備を進めていることと思います。

この1年、精一杯がんばれたこと、少し後悔していることなど、いろいろなことがあったでしょう。それらすべての経験や学びが児童たちの成長の糧となっていることを確信しています。児童の皆さんに、今年度の頑張りを讃えて、拍手を送ります。

私たち教員も、4月から気持ちを一新して新学年度を迎えたいと思っています。

保護者の皆様、この1年間、ありがとうございました。そして、来年度もどうぞよろしく願いいたします。



蛍雪の功成り、無事に小学校課程を終えられる8期生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

いよいよ卒業式を目前に控えた今、6年生の皆さんの胸中に去来する思いはどのようなもののでしょうか？

この6年間で、いちばん楽しかったことは何ですか？ いちばん辛かったことは何ですか？ いちばん楽しかったことは？ いちばん悲しかったことは？ いちばん成長したなと思うところはどこですか？ 忘れられない大切な思い出はありましたか？

一人一人がいろいろな思いを抱き、経験を重ね、この学舎で過ごした6年間、この6年間が君たち一人一人の心に、決して忘れることのできないかけがえのない大切なものとして刻み込まれたとしたら、こんな嬉しいことはありません。

この学校で君たちが学んできたことは、君たちの財産です。これから君たちが大人になっていくための礎となることばかりだと思えます。自分を支えてくれた人々への感謝の心と強い絆を大切に、無限の可能性を秘めた未来に向かって自信を持って第一歩を踏み出してください。焦る必要はありません。何事も諦めず、地道に取り組むことが肝要です。

君たちがこの小学部を去ることは、とても寂しいことですが、君たちの前途に幸多かれと祈念して、送り出したいと思います。

君たちが逞しく、魅力的で、有為な大人に成長してくれることを、教職員一同、心から願っています。

「頑張れ！ 8期生！」



3～4月の学校行事

月	日	曜	行 事		月	日	曜	行 事	
3	16	木	学校説明会（香芝）		4	1	土		
	17	金	児童会集会			2	日		
	18	土	卒業式予行			3	月		
	19	日				4	火		
	20	月	卒業式			5	水		
	21	火	3/20の振替休日			6	木		
月	22	水	学校説明会（王寺）		7	金	始業式		
	23	木			8	土	週休日		
	24	金	終業式		9	日	入学式		
	25	土	春 季 休 暇	個別面談	10	月			
	26	日			11	火	新入児保護者オリエンテーション		
	27	月		個別面談	12	水	証明書写真撮影		
	28	火			13	木			
	29	水			14	金	学校説明会（八尾）		
	30	木			15	土	学校説明会（藤井寺）		
		31	金			16	日		

※平成19年度4月の保護者会について

4・5・6年生は4月28日（金）の午前に、1・2・3年生は4月29日（土）の午前に開催する予定ですので、よろしくお願いします。

※5年生の高野山体験は4月21日（金）22日（土）の1泊2日で実施する予定です。

文化祭、頑張りました

2月18日に文化祭を実施しましたところ、たくさんの保護者の皆様にお集まりいただき、ありがとうございました。

児童たちは、日頃の学習の成果を精一杯発揮して、素晴らしい文化祭にしてくれました。

児童の頑張り、心からの敬意を表します。



6年生 修学旅行

2月27日（月）～3月5日（日）でオーストラリア修学旅行を実施しました。
今年の6年生も、楽しく、有意義で、かけがえのない体験ができました。



←ブルー
マウンテンズ

マッコリーズ
ポイント→



↑ シドニーのホテル（夕食）



Redlands College ↑
Welcome Board



交歓会→

←アボリジニー
文化体験



↑ モーニングティー



←ゴールドコースト

↓ シドニー空港



←クイーンズランド
州立博物館



5年生が老人ホームすばるとの交流会にでかけました

5年生が、「老人ホームすばる」との交流会に出かけました。
この交流会も今年で4年目になります。「老人ホームすばる」の方々も今では本校の5年生が訪問するのを首を長くして待ってくださっていると聞いています。

この交流を大切にしながら、さらに地域の皆さんとの交流の輪を広げていきたいと考えています。

さて、今回の交流会では、音楽を披露したり、一緒に折り紙やゲームをしたり、楽しい時間を過ごすことができました。日頃お年寄りと接する機会の少ない児童も、3回目の訪問となった今回は自分から積極的にお年寄りに話しかけ、和やかにおしゃべりできました。お年寄りの皆さんもとても喜んでくださいました。



塚原先生の仏教コラム



今年も、卒業していく子どもたちを見送る季節がやってきました。毎年経験していることですが、何度繰り返しても、成長した姿への喜びと、旅立っていく物悲しさで、とても複雑な気持ちになります。

成長した姿を見ると、その陰にはどんなに辛いことがあったか、どんな喜びを感じてきたのか。きっと、私たちが見聞きしてきたこと以上に、様々なことを乗り越えて、今の姿があるのだらうと、そんな心のドラマに思いをめぐらせます。特に高学年になってからは、思春期にさしかかることもあって、友だち関係や自分の将来について、葛藤する場面が多くあったことだと思います。

人は、一般的に3歳頃から自我が芽生え、思春期に確立すると言います。しかし、思春期に確立した自我を、私たちはちょうど思春期頃から見失い、人の評価を求め、他に憧れ、外に答えを求めてさまよいます。大人の私たちでさえ、自分自身が何者なのか、どうあるべきなのか、道半ばをさまよっています。

弘法大師空海はおっしゃいました。

遠而不遠即我心 絶之不絶是吾性
「遠いと思っていて案外近いのが自分の心である。絶縁したと思っていて関係があるのは自分の本性である。」 淳和天皇が亡き伊予親王のために、橘寺に土地と法具を施入するときに弘法大師が書いた願文の一節です。「あり方の答えは、自分の心の中にある」と弘法大師はおっしゃいます。そして「その大本は、自分の本性にある」と。これは、自分を肯定することであり、とても強靱な自尊心だと感じます。

卒業生には、この先様々な壁が待ち受けており、自分を見失ってしまうときがくるかもしれません。私たち教員がしてきたことは、どれほど自尊心の糧となっているかわかりませんが、どうかこの先の道で、子どもたちが自分に自信を持ち、堂々と人生を歩んでいくことができますように。